

阿 蘇 山

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、2 (やや活発な火山活動) でした。

概 況

中岳第一火口の湯だまりの量は、約 8 割の状態が続きました。湯だまりの色は、灰緑色から月の後半は緑色に変わりました。湯だまり内では噴湯現象が観測されましたが、土砂噴出は観測されませんでした。

湯だまりの温度は、約 70 前後と高い状態が続いています。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量、噴煙高度の最高は 600m(11 月:400m)で、特に異常は認められませんでした(図 1、図 2)。

地震・微動活動の状況

継続時間の短い火山性微動は、期間中 7 回(11 月:112 回)発生し、前月よりも減少しています。孤立型微動は 1 日あたり 44~89 回で、月合計は 2,060 回(11 月:1,685 回)でした(図 1、図 2)。A 型地震の月合計は 162 回(11 月:63 回)で、うち 39 個の地震の震源が求まり、多くは中岳第一火口付近のごく浅い所に分布しました(図 1、図 2、図 4)。B 型地震の月合計は 672 回(11 月:466 回)と前月に引き続き増加しています(図 1、図 2)。

火口や噴気地帯の状況

中岳第一火口の湯だまりの量は、10 月 21 日の現地観測以降約 8 割の状態が続いています。湯だまりの色は、17 日に灰緑色から緑色に変わりました。湯だまり内では引き続き噴湯現象を観測しています。土砂噴出は観測されませんでした(図 7)。

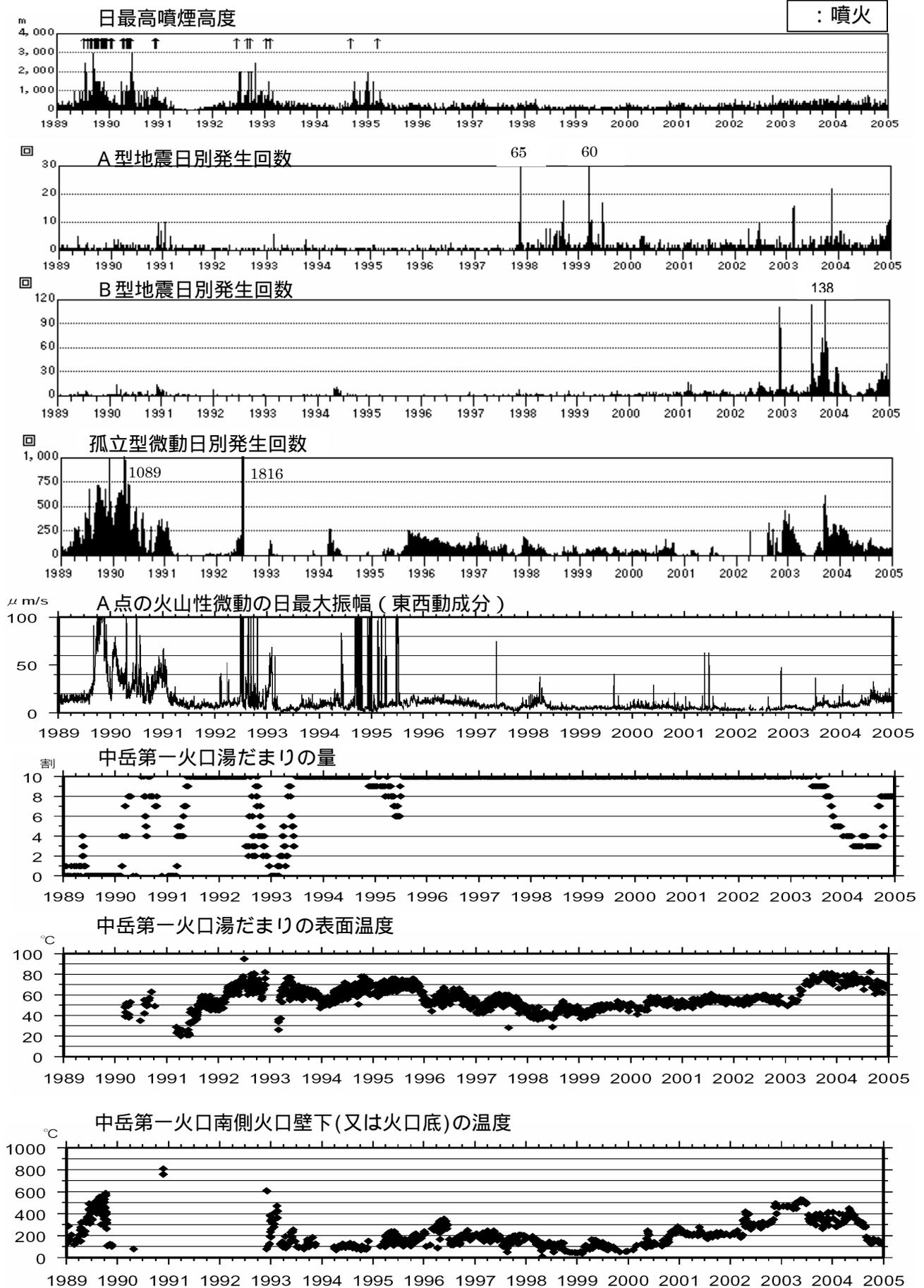
湯だまりの表面温度は 66~70 (最高 17 日)で、前月(62~72)と比較して大きな変化はありませんでした(図 1、図 2)。南側火口壁下の温度は 126~134 (最高 2 日)で、前月(153~161)と比べ、やや低くなりました(図 1、図 2)。

(温度測定は、赤外放射温度計による)

地殻変動の状況

GPS による地殻変動観測では、草千里 - 砂千里浜、草千里 - 仙酔峡、砂千里浜 - 仙酔峡の各観測点間の基線長には、火山活動に起因する変化はありませんでした(図 5)。

また、7~10 日にかけて実施した GPS 繰り返し観測では、草千里と中岳第一火口周辺の観測点間の基線長に火山活動に起因する変化は認められませんでした。



阿蘇山

図1 火山活動経過図(1989年1月1日~2004年12月31日)

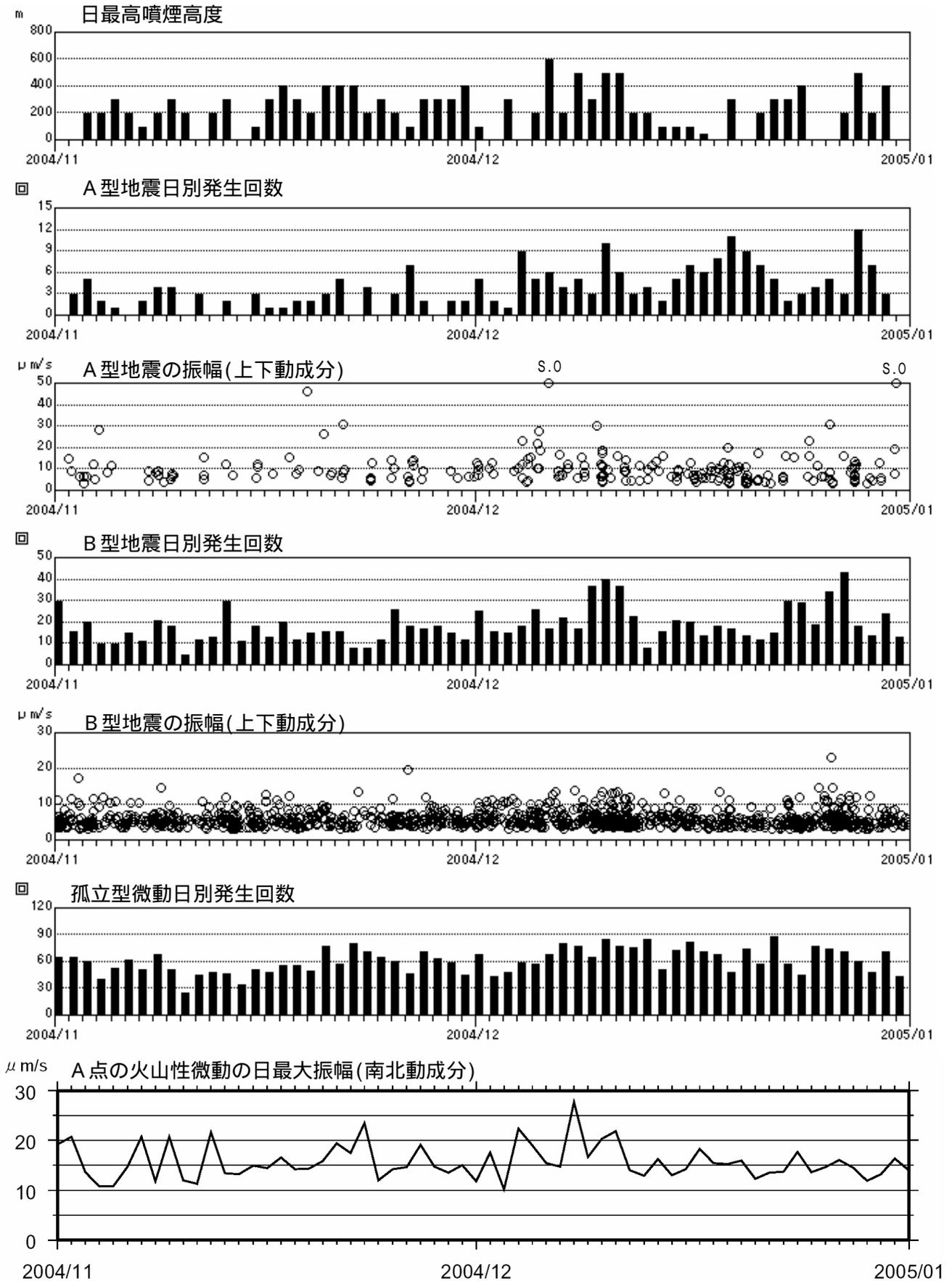


図2 火山活動経過図(2004年11月1日~12月31日)

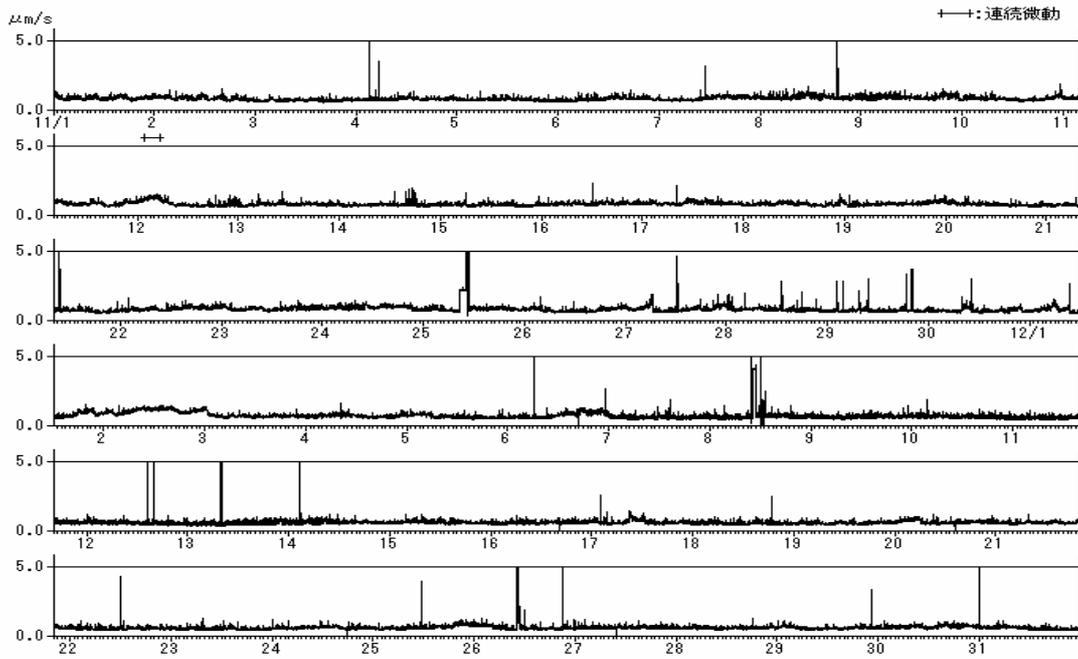


図3 1分間平均振幅の時間変化(A点南北動成分)(2004年11月1日~12月31日)

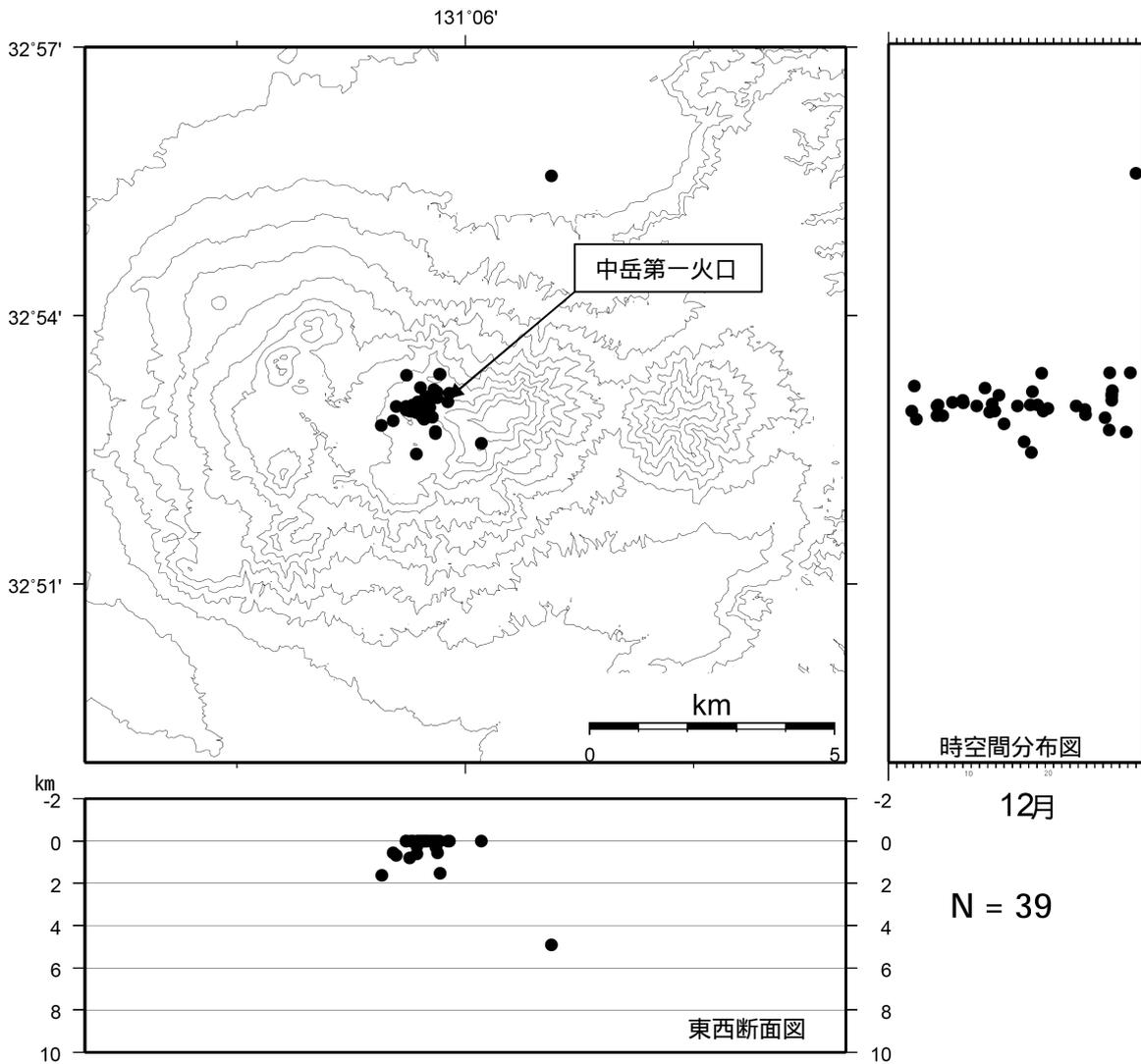


図4 震源分布図(2004年12月1~31日)

本資料は、防災科学技術研究所、京都大学、気象庁のデータを用いて作成した。

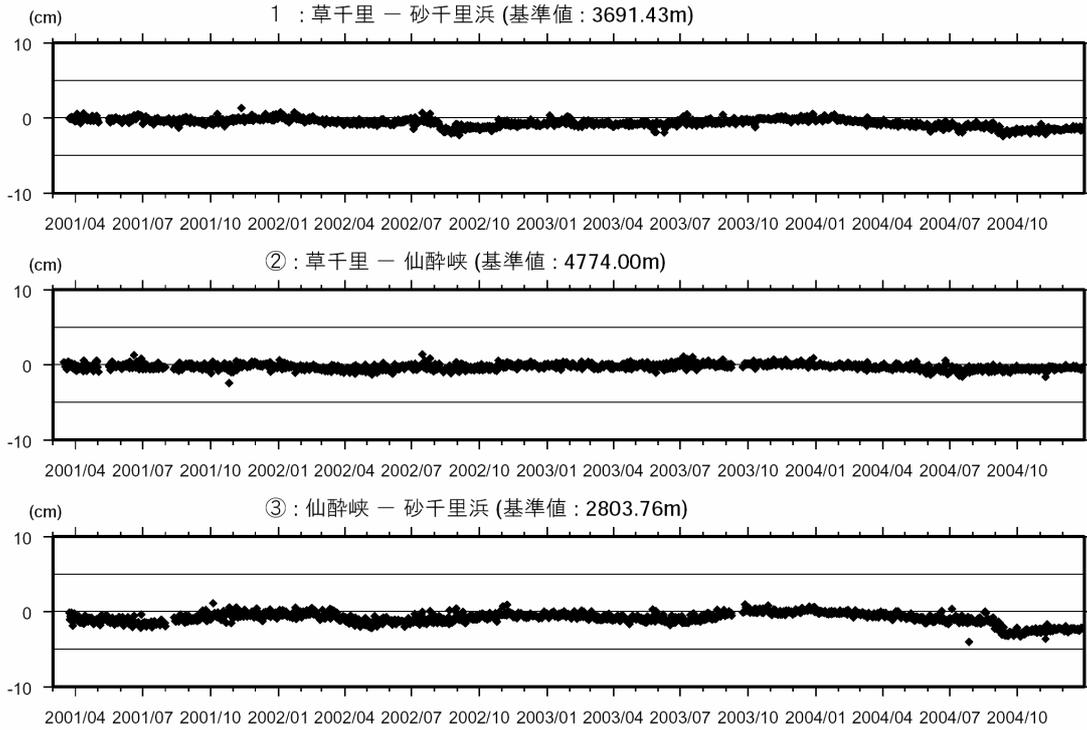


図5 GPS観測による基線長変化(2001年3月15日~2004年12月31日)

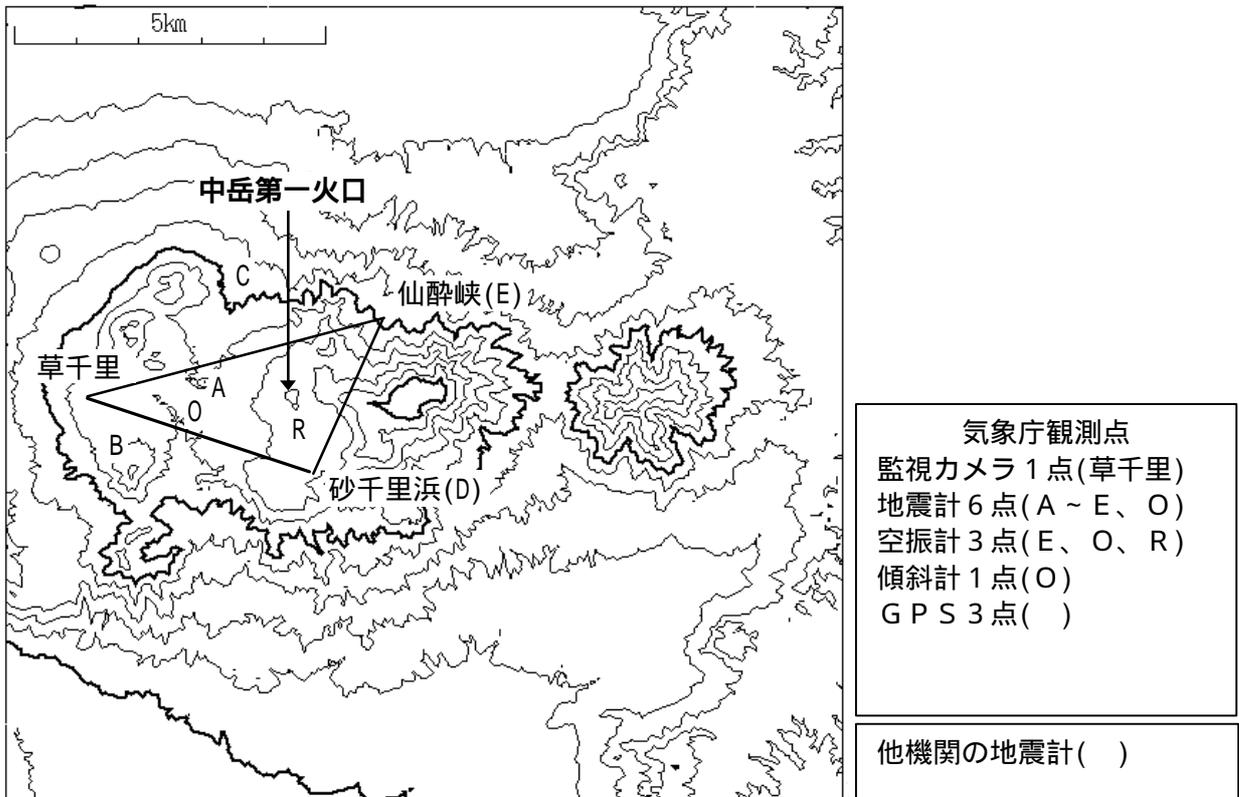
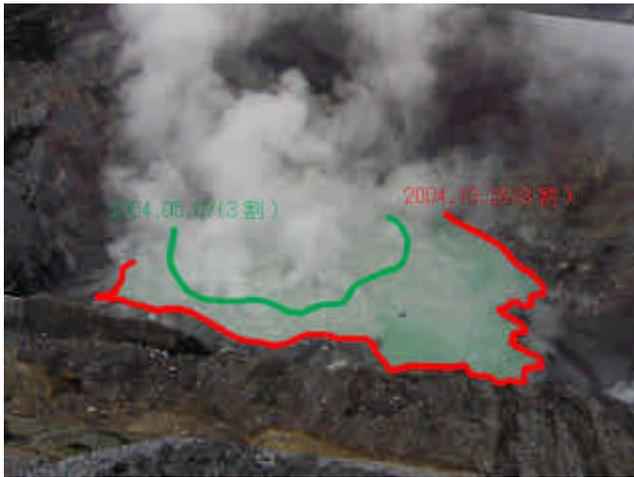
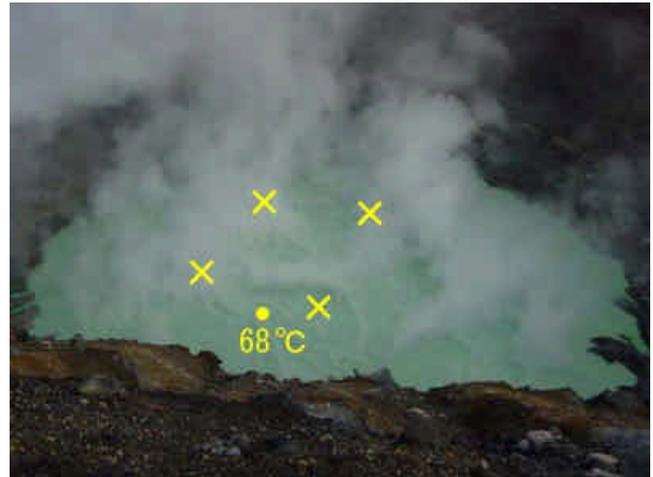


図6 観測点位置図



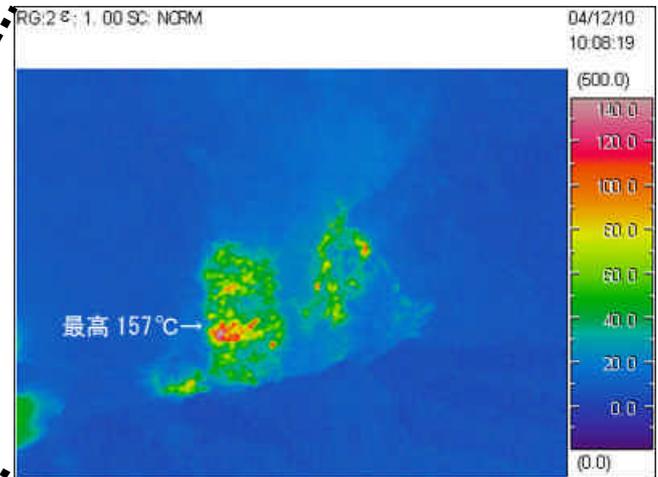
中岳第一火口の湯だまり量の変化
5月7日約3割 10月28日約8割



中岳第一火口
(南西側から撮影、×は噴湯現象)



南側火口壁の下



南側火口壁下の熱映像

図7 火口現地観測の結果

火口状況(12月10日)
湯だまり 色:灰緑色 量:約8割 最高温度:68
湯だまりの中央(2ヶ所)、西、南西で噴湯現象を確認
土砂噴出現象の発生はなかった